

**ごみ減量化に向けての
取り組みを質問**

市民生活部長 衛生センターの火災発生後、もやすごみは、他の自治体への搬送、処理を行っているため、収集時間への影響及び費用面等から、ごみの減量化への協力を行っている。今月から、生ごみ処理機及び生ごみ処理容器の購入費用への補助を開始。生ごみ処理機は補助率 1/2、上限額 3 万円、生ごみ処理容器は、補助率 1/2、上限額 3 千円 (1 世帯につき 2 基まで)。

議員 リチウムイオン電池の廃棄方法について市民への周知は。

市民生活部長 本年 12 月から、リチウムイオン電池等は、透明の袋に入れたうえで「消火器バッテリー」のかごに分別いただく方法に変更。回収用の透明袋を、啓発ちらしと合わせて、広報蔵と共に市内全世帯へ配布するほか、公共施設等へ配架する。

物価高騰の影響と市政運営・市民負担について

議員 長引く物価高騰の影響は市政運営にも市民生活にも及ぶ。本市の財政見通しと市民負担にかかわる対応について市長の見解は。

市長 健全な財政状況が維持できているが物価高騰などの影響は注視する必要がある。市立病院の建替え等の事業では、財源確保とともに持続可能な行政運営の展望を持ちながら進めることが大切。一方、市民生活は厳しい状況であり、市民生活を守る事が一番の仕事。法律や国・県の関係で市民負担の見直し避けられない場合でも最低限にとどめ、丁寧な説明に努める等最大限努力する。全体での物価高騰対策についても課題はあるが努力したい。

議員 当面の課題である国保税や水道料金などでは、市民負担を据え置かず、その影響を最小限とするような対応を要望する。

市議会議員
武下 涼

●1990年生まれ
●現在、市議2期
教育まちづくり常任委員会委員
蕨戸田衛生センター議会議員



市議会議員
やまわき 紀子

●わらび生まれわらび育ち
●現在、市議7期
環境福祉経済常任委員会委員、原水爆禁止蕨市協議会副会長



市議会議員
鈴木 智

●岩手県出身 (株)第一経営相談所勤務 行政書士
●現在、市議6期、党市議団長 総務常任委員会委員など



以下の内容も質問しました

- ◆自転車も歩行者も安全なまちを
- ◆学童保育(南町への増設など)
- ◆多文化共生の成果と課題
- ◆猛暑対策 ◆生活保護について
- ◆健康保険証の利用停止について

**外国人差別を考える 多文化共生のまちづくりを
日本共産党市議会議員団の見解**

「外国人ばかり優遇され日本人の暮らしは大変」「外国人が増えて治安が悪化」などという言説を耳にしますが本当でしょうか。実際は、蕨市でも全国的な傾向と同様に、国民健康保険や生活保護における外国人優遇の実態はなく、外国人人口が増えている中でも犯罪発生数は減少しています。一方で、差別・偏見を助長し分断と対立を広げるヘイトス

ピーチや政治上の動きなど、今日の問題は深刻です。様々な要因による不安を解消していくうえでも、日本人も外国人も互いに理解と交流を深め、力を合わせて地域を支える多文化共生のまちづくりが大切だと考えます。

※詳細は日本共産党市議会議員団のホームページをご覧ください。

